



農業委員会だより

発行

中野市農業委員会

編集

農業委員会だより編集委員会

横浜港の輸入食品の実態を見て

土屋 好文

中野市農業委員会は、8月30日から2日間にわたり、横浜税関における輸入食品の実態と神奈川県農業技術センター（試験場）の視察研修を実施しました。厳しい炎天猛暑の下、輸入食品の実態を見るため、横浜税関から輸入許可を受け、国内への配送を待つ横浜港湾倉庫を視察した。

案内者は、横浜港湾労働組合書記長の奥村氏である。氏は、輸入食品の講演や港見学で、年間100件以上、1万人以上の人達と交流・研修を



行っているとのことである。

最初に案内されたのは、500立方メートルの木枠梱包された「塩蔵きゅうり」の野積み山である（木枠に「黄瓜」と表示されている）。陸揚げしたが、倉庫が満杯で仕方なく野積みになって配送されるのを待っているのではないかと思われる。輸入されれば、直ちに食品加工場へ配送されるものと考えていたが、長いものは1年を超えて野積みされたままのものもあるとの説明である。これが知らずに我々の口に入ってしまうのかと思うと…である。

そう言われてみれば、風雨にさらされているため木枠は古く、置き去りにされてしまった輸入貨物に見える。人間の口に入る食品の山とは思われない扱いである。

次に案内されたのは、ほろで覆われた大型倉庫である。空調設備はなく、雨風をしのぐだけの倉庫である。倉庫の中へ一歩踏み込むと、ムツ！と息の詰まるような高温と多湿、まさにサウナであ

る。真夏日の炎天下の方が快適に感じられる。その中に塩蔵野菜などの輸入食品が山積みされて出荷を待っている。

食品の段ボールには「冷暗所に保管」と表示されているものもある。蒸し風呂の状態の中でこの表示は？、食品の安全性は？？？である。

食品の扱いとしては、信じられないほどの粗雑な扱いといっても過言ではない。この状況を目の当たりにして一同言葉もなく、噴き出す汗をぬぐいながら倉庫を後にした。

倉庫視察後は、事務所に案内されて、「日本における輸入農産物の現状と課題」と題して現場の実態について改めて説明を受けた。

港湾労働者の指導的立場にあり、農業には無縁と思われる書記長から、説明の最後に、輸入農産物に依存する危険性（残留農薬・添加物等）を説きながら「国民の生命と健康を守るために、国内農業を守り発展させなければならぬ。発展した先進国はすべて農業大国である」と結ばれ



た。大型貨物船が行き交う横浜港のと真ん中で、日本農業の大きさを聞かされ、驚きと同時に大変うれしく、意を強くした次第である。

農林水産省は8月10日、平成21年度の食糧自給率を発表した。前年度より1ポイント低下して40割である。10年後の目標自給率は50割であり、今の状況のままでは目標達成は危惧される。

今回の研修に参加して、ごく一部の輸入食品の実態を見ただけであるが、6割を外国に依存する日本の食生活の危うさを改めて認識することになった。

国民の安全・安心を守るために、国内農業を維持発展させる必要性を一層強くした次第である。

市長との農政懇談会

毎年実施している市長との農政懇談会を今年6月25日、市長をはじめ、経済部長、農政課、売れる農業推進室職員の方々と交え、三井農政部長を座長に開催しました。委員からの主な質問・要望および市の回答については、次のとおりです。

Q、農村部における婚活支援対策の現状について

A、平成21年度1回開催（男性14人、女性11人の参加）し、平成22年度も引き続き、参加者主導の出会いの場として、6回開催を予定しています。

Q、中野市に優良農産物を一同に集めた直売所を設置してほしい

A、現在、市内には、民間、JAなどの農産物直売所があります。直売所のPRについては、北信地方事務所が直売所マップを発行しているほか、市公式ホームページ、夏・秋・冬のギフトカタログ、信州まごころのカードなどに掲載してPRをしています。

今後も直売所の開設などについては支援をしていきます。

また、売れる農業推進室では、農産物等販路拡大支援講座を開催しています。なお、バラまつりの会場にも直売所のカタログを置いてお客さんが直接直売所へ訪れていただくようになっています。

Q、農産物有害鳥獣対策事業で、害鳥を捕まえる巣をふやしてほしい

A、現在、長丘地区において地元JA青年部、JA職員により平成20年度にカラス捕獲檻を設置し、カラス駆除を実施しています。カラスの行動範囲を現在中野市農作物害鳥獣駆除推進協議会で慎重に調査・研究しているところであり、カラス捕獲檻などの増設設置について慎重な判断をしたいと思いますと考えています。また、檻設置後の維持管理は設置者において行っていただくことになっていきますので、協力体制の確立も必要となります。

Q、中野市独自のキノコの包装形態などによる有利販売が行われるべきと思うが、どうすれば中野市を中心としたスタイルで取り引きが可能になるか

A、売れる農業推進事業の一環で、きのこ包装フィルム

に中野市のPR広告を掲載し、県内外の多くの方々にPRしているところですが、広告は、JA全農長野が統一規格で作成しているきのこの包装フィルムの一角に本市のPR広告を刷り込んだものであり、その大きさ、場所、色などには制限があります。

包装フィルムは、その内容物の品質を伝える大事なアイテムであり、ブランドを消費者に伝えるものであります。このため、安易に変更するものではないし、変更する場合には大きな経費とリスクが伴うものであります。

JA、市場、量販店または、生協を通じて消費者にお届けするという販売ルールでは、本市の独自のキノコ包装は困難です。

Q、年間を通じて農産物を供給する体制が必要と思う。キノコ生産者の夏場対策を加味しながら良い方法はないでしょうか。

A、キノコ生産は、近年、民間企業の参入などによる全国的な生産量の増加、品目の多様化が進み、産地間や

品目間競争が激化するとともに、量販店間の競争も激しくなり、価格の低迷が続いています。

県単補助事業の「きのこ生産流通体制推進事業」において、野菜・花きなどの複合経営を行うための施設整備などに補助を行っている。品目によって、適正生産（生産調整）が必要との意見もだされておられ、キノコ生産者の複合経営導入が必要と思われまます。

Q、認定農業者に対する制度資金の融資状況や有害獣対策資金など、是非手厚い対応もお願いしたい。

A、農業施策推進のうえで必要な事業に対し、低収益性を補完するため一般金融機関に比べ低利に、また投資の回収期間中の負担を軽減するため長期償還に設定された資金の供給を行うことを目的として農業制度金融が設けられており、また、市では農業近代化資金融資などの利子補給金を交付しています。

今後とも、認定農業者などの要望に応えられる制度として努めていきます。

Q、廃オガ対策の観点からも、バイオマスタウン構想に期待していますので、早めの立案実行をお願いしたい。

A、地域に賦存している再生可能な有機性資源のバイオマスの利活用を推進するため、市では、昨年度に中野市バイオマスタウン構想を策定しました。

本年度の事業として(株)森羊土が実施予定です。今後は、市民、事業者および研究機関などをメンバーとした推進協議会などの設置を進めます。

本構想の実現に向け、利活用の推進検討体制の構築を図り、費用・役務の分担や施設の運営主体など関係者間の役割を調整した上で、環境ビジネスとして運営が成り立つように推進していきます。特に、キノコ使用済み培地については、年間10万ト程度賦存するため、さまざまな方法で利活用することを推進し、循環型社会の形成を目指します。

Q、売れる農業推進室を設けて何年か経過した。今後の方向、施策は？

売れる農業推進室では、市農産物を使用した新たな商品開発、飲食メニュー開発、これらの商品の認知度の向上や販路拡大につながるよう、農商工の連携・6次産業化などの実現に向けて、取り組んでいるところです。

A、平成16年4月に売れる農業推進室を設置して以来、地産地消の推進と多様なマーケティングの推進を柱に施策を展開しています。これまで、ギフトカタログ、まごころカードの発行などによる新たな販路の拡大、農業団体と一体となった消費宣伝の実施、直売所・観光農園等の支援事業、さまざまな媒体を活用としたPR活動について事業を進め、売れる農業の実現に取り組んできました。

この間、個々の農業者や団体の中には、自ら販路を開拓する者も見られ、更には、平成20年10月、民間の立場で農業支援を行う(株)中野市産業公社が設立され、「行政が積極的に農産物の販売に関わる」から「行政が農業者や関係事業者などが行う販路拡大活動を支援する」への転換期にきています。

売れる農業推進室では、市農産物を使用した新たな商品開発、飲食メニュー開発、これらの商品の認知度の向上や販路拡大につながるよう、農商工の連携・6次産業化などの実現に向けて、取り組んでいるところです。

Q、土地改良区の賦課金の助成を是非お願いしたい。

今後とも、地産地消の推進、地元農産物などの販路拡大、普及につながるよう支援していきます。

A、市では、県営事業で施工中の土地改良事業費の一部および土地改良施設維持管理適正化事業として土地改良区事業の地元負担金軽減のため負担をしています。区域が限定される土地改良区の助成金は、公平・公正の観点から助成は考えていません。

Q、農産物有害鳥獣対策で、猟友会員が減っているの増やしてほしい。

A、農産物被害における有害鳥獣対策については、中野市猟友会に銃器などによる有害鳥獣駆除を依頼し実施しているところです。

銃器を使用する捕獲には一定の経験年数などが必要であり、従事者となれる猟友会員を急激に増やすことは困難です。有害駆除や個体数調整には「わな」による捕獲が効果的であるため、当面、捕

Q、ニホンカモシカは、国の天然記念物に指定されているが、捕獲頭数を増加してほしい。

A、ニホンカモシカの農林被害については、畑のマルチに穴をあける、リンゴの木への芽、樹皮の食害などの被害報告を受けています。平成7年には、間山地区においてスギ植林地の食害報告を受け、これが中野市の許可初年度とされています。

ニホンカモシカの個体数調整については、県の特定鳥獣保護管理計画に基づき、捕獲数が算定されます。前年度は6頭でした。

個体数調整にあたっては、特定鳥獣保護管理計画（カモシカ）に基づき、県が年次計画を策定し進めています。平成22年度は、現在、県環境審議会において継続審議となつています。

また、天然記念物である

Q、豊田農産物加工施設みそ部では、刈り取りは機械で行う事が必須条件です。そばの刈り取りの最中でも、こちらの要望で大豆の刈り取りの要請に対応してほしい。

A、コンバインの歯の交換は業者に依頼して実施するため、半日から一日の時間と費用で、また、歯の交換は一回で済ませたいと考えています。そばと大豆の刈取り時期を決めて、それぞれさかのぼって播種していただくよう(株)中野市産業公社から連絡しますので、ご相談ください。

なお、そばの播種は8月10日前後、刈取りは10月末、大豆の播種は、種類によって異なりますが、6月下旬、刈取りは、そばの後になります。



遊休荒廃農地の現況

小林 正英

遊休農地解消月間が、9月1日～30日までの期間設定されました。
農地法の改正施行に伴い、農地の利用状況調査の実施が農業委員会に義務付けられました。当農業委員会では設定期間、各地域ごとに農地パトロールを実施し現況を調査しています。

川敷で水害の被害を受けやすい、毎年獣害に見舞われる、また隣接地で耕作放棄が多くなるなど、耕作にはメリットが感じられない場所に遊休農地が多く見受けられます。
また、農業者の年齢も年々高くなり、耕作不能者もここ数年多くなり遊休農地の増加に歯止めは掛かりません。
この現実を見れば遊休農地解消、耕作の再開は大変むずかしいことだと思えます。

幸い北部土地改良区内では、米所、おいしいお米がでます。水田地帯の遊休農地はありませぬ。おいしいお米ができるので地区外からの耕作者も多数おられます。また、畑地では平坦な土地柄か遊休農地は少ない現状です。
遊休農地解消にはそれぞれの地域が、地域なりに知恵を出し合って取り組まなければならぬと思えます。地域で集落で皆で考える寄り合いをもつて農地の集積、栽培作目の選定、設定、販売方法研究などを話し合ってみるのもおもしろいと思えます。



編集後記

海野 鐵治

当委員会では、別段面積（下限面積ともいう）の設定内容を議論しています。
農地法施行規則では、都府県では50㍎の面積をいうとあります。農業上の効率のかつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがないこと。基準により別段の面積を定め、公示したときは、その面積となります。
本市では地区により異なりますが、30㍎を定めた地区があります。10㍎にしたほうが農地の取得に得策であるという意見もあります。山ノ内町では、構造改革特区の定めにより、全区区10aに定めています。
2010年の「農林業センサス」の速報値では、農地30㍎を耕作し、年間50万円以上の農産物販売収入のある農家は減少しています。皆さんは別段面積をどう考えますか。ご意見をお寄せください。今月号は、研修視察、市長との農政懇談会、各部の事業などを記載しました。豊かな稔りの秋を満喫したいです。



果樹農業の振興を考える時

永沢 清生

果樹農業の振興を考える時、競合他産地との違いを明確に消費者に示すことは、大切だと思えます。このことに成功し、地域のブランドとして歩み続ける「冠雪ふじ」について報告します。
「冠雪ふじ」とは、有機質肥料による土づくりに取り組み、「味」と「蜜入り」にこだわり「完全に熟したサンふ

じ」を栽培しようというところから始まり、高社山に初冠雪するまで、じっくり樹の上で味を乗せてから収穫されたリンゴです。
荻原安治代表の下、科野地区を中心に、24人の仲間が、「冠雪ふじ」の栽培を目的に厳格な栽培マニュアルに従い、栽培環境の変化と戦い、栽培段階ごとに講習会を開催

し技術の向上にも努めています。厳しい消費者の期待に応えようと心を一つに日々がんばっています。
また、自分の作品に自信を持ち、生き生きとリンゴ作りが、消費者の心に届き、ブランド化に成功したと考えられます。更に全員がエコファーマーの認証を取得し、環境にも配慮した農業に心掛けています。このような取り組みが、各地域に起こる事が、更なる果樹農業の振興につながると思えます。